

●総来場者数 1,300名

○ なごみんの開館20周年を記念し、40以上の市民活動団体が参加するイベントを開催しました。「体験・展示・販売」を通じて来場者との交流が広がり、団体間のつながりも深まりました。

こども食堂や居場所づくりに取り組む団体、空き家を活用した駄菓子屋なども初参加し、地域に根ざした多彩な活動が紹介されました。体験ブースでは軽運動やヨガなどを気軽に楽しむ姿が見られ、今後の参加意欲や活動への関心を高める機会となりました。

高校生や他県在住者など、25名のボランティアの参加があり、地域活動への関心の広がりを感じられました。市民、団体、ボランティア、なごみんスタッフが一体となり、協力してつくり上げた意義ある催しとなりました。



●総来場者数 1,499名

○ 藤川まちづくり協議会主催「むらさき麦まつり」にあわせ、地域・市民活動団体・むらさきかんが連携し、「市民活動博覧会2025」とまち歩きイベント「藤川宿歴史散策ツアー」を開催しました。

「地域活動博覧会2025」では、岡崎市東部・額田地域のまちづくり協議会と協力しながら活動展示を行い、市民活動団体の発表や啓発の場を展開しました。参加団体ブースラリーを実施したことで、複数のブースをまわる動機づけとなり、より多くの交流を生み出しました。「藤川宿歴史散策ツアー」では、地域資源である藤川宿を舞台に、各所で地元住民がガイドを務めるなど、地域ぐるみの協働ができ参加者から好評を得ました。

多様な主体が力を合わせたことで、来場者の地域への愛着やまちづくりへの関心が高まり、地域課題への理解を深める場となりました。



協働先：藤川まちづくり協議会、山中学区まちづくり協議会、本宿まちづくり協議会、宮崎まちづくり協議会、道の駅藤川宿西三河児童・障害者相談センター、NPO法人蔭の臺、NPO法人こえもじ

りた職員の思いを伝える！コラム

キッチンまで背中を押してくれた

突然ですが私、今まで料理という料理をせずに生きてきました。電子レンジと湯沸かし器が友達です。そんな私が交流センターで働きはじめてから、なんとキッチンに立つようになりました。センターの近くで野菜を育てている元職員さんが時々野菜をくれるのです。スナップエンドウ、キュウリ…。もらった野菜をおいしく食べるべく、簡単な料理をするようになりました。

野菜をもらうようになって生活に変化が生まれました。苦手だった料理に挑戦する気持ちになり、もらった野菜だけでなくスーパーで野菜を買うようにもなりました。まだまだ簡単なものしか作れませんが、それだけ人には影響力があるのだなあ、と実感しています。人がまちを育て、まちの繋がりが人を育てる。これからもまちの人たちがいい影響を与え合い、成長して、もっといいまちになるといいな！



近藤美智（事務局員・市民協働コーディネーター）

岡崎（六ツ美南部）生まれ。趣味は、はにわづくり。かわいい動物もつくります。トヨタ86を愛する安全運転ドライバー。

お問合せ		よりなん	59-3600	むらさきかん	66-3066	市民活動センター	23-3114
なごみん	66-8251	やはぎかん	33-3665	悠紀の里	57-5050	まち育て推進チーム	23-2888

まちのミカタ

Litaracy

2025.9 vol.135

発行・編集



特定非営利活動法人 岡崎まち育てセンター・Lita

〒444-0031 愛知県岡崎市梅園町3丁目6-6
TEL(0564)23-2888 / FAX(0564)23-2898
http://www.okazaki-lita.com/
https://www.facebook.com/okazaki.lita/

配布

岡崎市図書館交流プラザ・Libra／岡崎市内の地域交流センター
会員宛へ郵送 等 ※会員登録をご希望の方は左記までご連絡ください。

配布協力

岡崎市役所各支所／岡崎市各市民センター／シビックセンター／
FMおかざき／杉くんの駄菓子屋／松應寺／cafeくらがり／

まちのミカタ

Litaracy

ーりたらしいー

135

2025年9月



特集

安城地区公園再整備基本構想策定

安城市は4つの地区公園*（柿田公園、秋葉公園、堀内公園、川島河川敷公園）が老朽化してきたことを踏まえ、2024年度、2025年度の2か年で、再整備構想を策定する計画を進めています。

本事業では、「専門家による策定委員会」「市民ワークショップ（以下WS）」「市民アンケート」「事業者サウンディング」「パブリックコメント」の5つを経て再整備構想を策定することとしており、りたはWSの企画運営を担当しています（事業全体の受託者は株式会社ブレイク研究所）。4つの地区公園の再整備構想を同時に検討・策定するという、

全国的にもあまり例をみない事業です。WSは、2024年2月から2025年11月までに4回開催します。参加者は安城市内に在住、在勤、在学の方で、約40名、小学生の参加も多いのが特徴です。また、安城市の市民活動センターの協力を得て、市民団体等へも積極的に参加の声をかけた結果、公園活用に意欲的な市民らが多く集まりました。

今号では、前半2回のWSについて紹介します。

* 地区公園：公園の種別上、身近な街区公園、少し大きめの近隣公園より、さらに大きな規模の公園で、岡崎市では竜美ヶ丘公園（野鳥の森）、矢作公園が該当します。

● 4つの地区公園の概要

柿田公園

市北部の住宅地の中にあり、広々とした芝生広場、様々な遊具、水辺、グラウンドがあります。また、併設する環境学習施設「エコきち」や、公園に隣接する公民館では室内で遊ぶこともできます。



秋葉公園

市中部の住宅地の中にあり、樹林地と池が大部分を占める自然豊かな公園です。遊具とテニスコートもあり、以前はガリバーの大型遊具が人気でした（現在は老朽化のため撤去）。



堀内公園

市東部の住宅地の中にあり、遊園地、ふわふわドームをはじめとした大型遊具、広い芝生広場、桜並木、ウォーキングコースなどがあります。市内外からたくさんの方が集まる人気の公園です。



川島河川敷公園

市南東部の矢作川の河川敷にあり、グラウンド、テニスコート、ローラースケート場など主にスポーツ利用に適した公園です。新幹線の高架のすぐ近くで、新幹線の全景が見える穴場スポットでもあります。



●ワークショップの概要

第1回(2/23)は「4つの公園のいいところマップを作ろう」と題して、4公園それぞれ現状の良いところやお気に入り度、利用する頻度を話し合いました。WSの結果、「遠くても行きたくなる公園」を合言葉に、

- ①4公園のうちで一番利用されていない川島河川敷公園の可能性が無限大
- ②子どもが自然遊びに夢中になって、大人は安心して遊ばせられる公園が望まれている
- ③4公園のいいところは残しつつアップデートを目指す

の3つの方向性を確認しました。

第2回(5/11)は「これからの公園でやりたいことを考えよう」と題して、参加者のみなさんに事前に調べてきてもらった、国内外の魅力的な公園「私の推し公園」について発表してもらいました。それらをヒントに、これからの安城の公園でやりたいことを話し合いました。その結果、市民らの主な関心事は

- ①デイキャンプ(昼、夜、宿泊などで火を使うイベント)
 - ②大型イベント(ジャズライブ、映画会、農業フェスなど)
- の2つであることを確認しました(図1)。

●前半の振り返り&後半に向けて目指すこと

りたがWSの企画で工夫したのは、前半2回は参加者が自分の関心のない公園も含めて4公園について考える、後半2回(8/24、11/9)は自分の関心のある1つの公園について考える、という構成にしたことです。これは、4公園それぞれの特徴、強みを横並びで把握した上で、新たに入れたい機能を適材適所に配置することを意図しています。

また、WSでは、経験豊富なりた職員(センター長ら)がファシリテーターとして活躍しています。今後は、岡崎の公園愛護運営会の経験を活かして、公園を使いこなすアクションの立ち上げも視野に入れて、WSの企画運営を進めます。

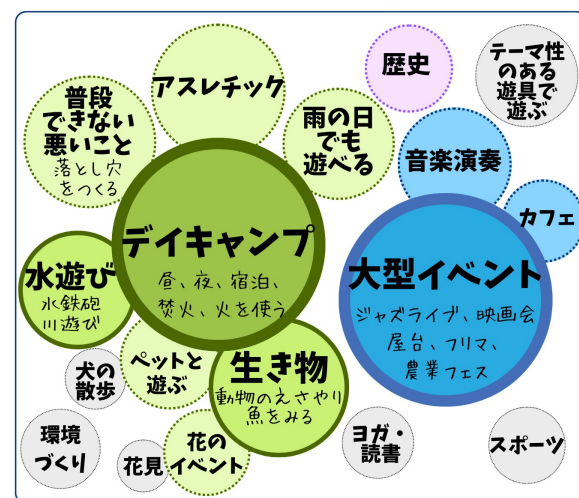


図1 これからの安城の公園でやりたいこと

まち育てレポート

みんなとつながるコラボフェス



▲わくわくロボット体験隊のブース

5月31日(日)、岡崎市南部地域交流センター・よりなんにて、市民活動と地域、事業者のマッチングを目的に、協働のきっかけづくりの場となる交流イベント『みんなとつながるコラボフェス』を開催しました。「環境」「子育て」「福祉」にテーマをしぼり、参加団体を募集。事前に「団体の自慢や課題、どのような団体(地域)とつながりたいか」のアンケートも行いました。それにより、団体は参加目的が明確にでき、また、主催者であるよりなんは、事前に収集した団体情報を当日の運営・進行に活かすことができ、双方にとって有益なツールとなりました。

当日は第一部〔一般来場者を対象にした各団体の活動紹介や展示等〕、第二部〔参加団体同士の交流〕の二部構成で実施。対象を区分したことで、一般市民への認知向上と、団体間のマッチングの両面で効果的な成果が得られました。

成立したマッチングの一つに【「地域包括支援センター」と「わくわくロボット体験隊」】があります。ロボットカー体験は、簡単な工具でロボットカーを作製し、パソコンのプログラムで動かすというもので、元々は小学生高学年を対象にした活動ですが、ブースで実際に体験したり交流する中で高齢者層にも需要があることがわかり、マッチングに至ったものです。

また、医療用・おしゃれ用ウィッグのブースでは、病気やその治療による脱毛に悩む方、その家族が実際に試着したり、費用を尋ねたりする姿が多くありました。“店舗だと高価そうで入りにくい”と思われがちなウィッグですが、「購入には補助のあるケースもあり、脱毛に悩んでいる人々の助けになりたい。がん患者の家族会も開きたい」という気持ちで出展を決めた団体の方は、来場者の反響を喜んでいました。

出展団体17団体、一般来場者含む総来場者137名、上記の他にも多くのマッチングや協働の芽を育み、大盛況で終わった『みんなとつながるコラボフェス』。実際に活動を見て、体験して、互いに話をする事で思いがけないつながりが生まれる——これこそがりがたが追及する交流イベントです。今後も続く各地域交流センターの交流イベントにぜひご期待ください！

今回は、りぶら市民活動センターがブース出展し、まちびとバンク、ステージ、もののバンクのPR及びマッチングを展開しました。センター間のネットワークを活かし、協働の輪を広げる取組の一助となりました。



お知らせ

おかざき公益ナビ巡回展のご案内

岡崎市内の市民活動団体等が取り組む公益活動を紹介するWebサイト「おかざき公益ナビ」。何か活動を始めたい方や、今の活動に新たなアイデアが欲しい方に参考となる事例を集め、紹介しています。この「おかざき公益ナビ」に掲載した事例の巡回展示会を、右記日程・場所で開催いたします。

Webサイトは
コチラから
チェック→



おかざき公益ナビ

＼ぜひこの機会にご覧ください／

センターによって展示時間が異なります。詳細はお問合せください。

9/3(水)-9/14(日)	地域交流センター六ツ美分館・悠紀の里
9/18(木)-9/28(日)	南部地域交流センター・よりなん
10/1(水)-10/9(木)	東部地域交流センター・むらさきかん
10/11(土)-10/30(木)	北部地域交流センター・なごみん
12/3(水)-12/13(土)	西部地域交流センター・やはぎかん
2/9(月)-2/12(木)	図書館交流プラザ りぶら